

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCO.R		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日 ～ 令和7年2月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日 ～ 令和7年2月21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な活動プログラムを設定している。	・制作活動・感覚遊び、グループ活動などを設定し取り組んでいる。長期休み等には昼食やおやつ作りも体験する。 ・市内の公共施設を利用したり、市が企画する体験活動に参加している。また、市外の施設に出かけカーリング・スケート等の体験活動を行っている。	・今後も様々なプログラムを提供できるよう努める。
2	・障害や本人の特性に応じた個別支援を行っている。	・保護者からの聞き取りや、本人のアセスメントを行い特性の理解し、これまでの支援の経過の理解に努めている。また、学校と連携し情報共有するよう努めている。 ・障がい特性に応じて環境づくりを行い、個別のスケジュールで活動設定をしている。 ・スタッフ間で支援方法を共有し、本人に合わせた支援の見直しを行っている。	・職員の研修を充実させ、より専門性のある支援を行うように努める。
3	・学生との交流を図っている。	・地域の学生が提供する野球教室や、英語教室等に放課後児童クラブと一緒に参加する機会を設けている。	・地域の方々にも取り組みを理解していただけるような活動を展開していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースに狭さを感じることもある。	・天候が悪く外での活動ができない場合と、体を動かす専門的支援を行う場合にスペースを確保したい。	・公共機関を利用し活動しているが、施設が休みの場合でも活動できるよう工夫していきたい。
2			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	COCO.R
------	--------

公表日 令和6年 3月 27日

利用児童
数 12名

回収数 11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	1	バリアフリー化はよくわからない。	2階建てだがエレベーターの設置はないため、今後検討が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	2		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	0	0	0		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	0	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	0	0	2	細かい所にも気づいて報告して頂くので助かっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	2		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	2	とても良く思っていました。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	1	4	保護者同士の交流などは特に望んでいません。	
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0	体調面での申し入れに対し聞き入れてもらえるので助かっています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	1	1	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	1	0	・最近COCO.Rに行きたくないってよく言っています。本当はもう少し日数を増やしたいです。でも本人が嫌がるので今までの通りをお願いします。 ・長期休みのイベント等、とても楽しみに通っています。 ・次に行った時何をしたいか具体的に教えてくれるくらい楽しみにしています。	利用日数が少なく、慣れるまでに時間がかかっていたが、利用日も増えて嫌がることなく通えるようになっていと感じる。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	2		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
COCO.R		令和7年 3月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	宿題をする場所と、遊ぶスペースを分けているので心地よい空間となっている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	行事後に反省会を開き今後の活動に活かせるようにしている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	毎月1回のミーティングを行い、意見交換をし業務改善に繋げている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	一月毎にミーティングを行い、翌月の予定を作成、公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	長期休暇後等にミーティングを行い、プログラムが固定化しないように意見を出す。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	気付いた点は職員同志で振り返りを行い日誌に記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	遊び、行事等で子どもたちが考えた企画を行う工夫がされている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	年間予定や下校時刻表、1か月の行事予定を学校よりファックスで送って頂き情報共有している。トラブルが発生した場合は連絡を取り情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	1		

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	迎えに来た保護者に対して、その日に 子供の状況を細かく 伝えている。直接伝えることができな い場合は、連絡アプリを活用してい る。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説 明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を 得ているか。	8	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設け る等の支援をしているか。	4	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	行事が行われる場合は、事前に連絡ア プリで 子どもや、保護者に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。	5	3	野菜や、お米の栽培指導をして下さっ た方を、行事に招待 する事業運営をしている。 保護者や地域住民を対象とした子ども cafeの開催をしている。	
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	9	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いるか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基 づく対応がされているか。	9	0	アレルギーなどは、事前に保護者に確 認し、おやつを提供している	

常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	発生時には報告書を作成し情報を共有すし再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCO.R Growth			
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～	令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～	令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な活動プログラムを設定している。	・制作活動・感覚遊び、グループ活動などを設定し取り組んでいる。長期休み等には昼食やおやつ作りも体験する。 ・市内の公共施設を利用したり、市が企画する体験活動に参加している。また、市外の施設に出かけカーリング・スケート等の体験活動を行っている。 ・外出活動では地域のお店に買い物に行ったり、図書館や体育館、公園等地域の施設を積極的に活用するようにしている。 ・地域の学生が提供する野球教室に放課後児童クラブと一緒に参加する機会を設けている。	・今後も様々なプログラムを提供できるよう努める。
2	・障害や本人の特性に応じた個別支援を行っている。	・保護者からの聞き取りや、本人のアセスメントを行い特性の理解し、これまでの支援の経過の理解に努めている。また、学校と連携し情報共有するよう努めている。 ・障がい特性に応じて環境づくりを行い、個別のスケジュールで活動設定をしている。 ・スタッフ間で支援方法を共有し、本人に合わせた支援の見直しを行っている。	・職員の研修を充実させ、より専門性のある支援を行うように努める。
3	・長期休みに職業見学、職場体験の機会を設けている。 ・長期休みは週に1回奉仕活動を行っている。	・市内の書店やガソリンスタンド、コンビニエンスストア等の事業所に協力していただき、仕事内容の説明を聞き、見学や実際に体験させて頂いている。 ・事業所周辺のごみ拾いを全員で行っている。	・地域の方々にも取り組みを理解していただけるような活動を展開していき、今後も協力をして頂けるように努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースに狭さを感じることもある。	・天候が悪く外での活動ができない場合と、体を動かす専門的支援を行う場合にスペースを確保したい。	・公共機関を利用し活動しているが、施設が休みの場合でも活動できるよう工夫していきたい。
2			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 COCO.R Growth

公表日 令和 7 年 3 月 2 7 日

利用児童
数 14 名

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2	0	1	・子どもが活動している時に施設に行ったことがないためスペースが足りていないかわからない。	見学の機会を設けるように検討が必要。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	0	2	・子ども達の活動中に職員の方がどのくらい配置になっているか見たことが無いのでわからない。	スタッフ数は基準通り配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	0	0	・施設はバリアフリーで出入りがしやすくて良い。 ・子どもの特性に合わせた情報伝達方法がとられていると思う。	利用者の特性に合わせて、個室や活動エリアを明確にしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	0	0	・新しくきれいな施設でありがたい。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0	・職員の方は子どもの事を良く理解してくださっていてありがたいです。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0	・子どもの特性を理解してくださっているので、それに合わせた支援を受けられている。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0	・子どもの特性を理解してくださっているので、それに合わせた支援を受けられている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0	・きめこまやかな支援を設定して頂けていると思う。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	・計画に沿った支援を受けられている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0	・子どもの状態に合わせてその時々、柔軟に対応して頂けていると思う。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	0	3	・長期休み中など、交流していると聞いている。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	・十分な時間をもって説明を受けている。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0	・面談の際に説明を受けた。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	1	2	・研修会等は受けたことがない。	今後、研修会等の情報があれば、連絡アプリ等で周知、配信していきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	1	・日々の送迎の際や、アプリなどで十分に伝える機会があると思う。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0	・悩みなどがある時は送迎時や電話、アプリなどで相談できてありがたい。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	・職員の方々に親身に相談に乗っていただけてありがたい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	2	4	・保護者会、きょうだい児の交流会はない。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	2	・心配事がある時はいつでも相談が出来る。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0	・心配事がある時はいつでも相談が出来る。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	3	・SNS等で発信があるかもしれないが見たことはない。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0	・個人情報の取り扱いには十分に配慮されていると思う。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	4	・マニュアルはあると思うがこちらの確認不足で申し訳ない。後程確認したい。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	3	・日頃から避難訓練は定期的に行われていると聞いている。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	4	・計画はあると思うが確認不足で申し訳ない。後程確認したい。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	3	・されていると思う。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	1	・小学生の頃から利用している施設なので安心して通所している。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	1	・いつも楽しみに通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	1	・小学生からお世話になっておりいつも感謝しています。とても満足です。	今後も引き続きご家族の協力を得ながら支援していきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
COCO.R Growth		令和7年 3月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・ 整理整頓をしてそうじをして清潔にしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・ 職員ミーティングを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・職員の退勤時間が異なる場合は振り返り出来ない日があった。	その日できない場合は次の日に必ず共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得 ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける 等の支援をしているか。	2	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	6	0		
非常時等の対	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。	4	2		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いるか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基 づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他 必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が 行われているか。	5	1		

51 52 53 54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 Preschool COCO.R			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数)	21人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICTを活用している。	・保護者連絡アプリ「コドモン」を活用し、保護者が365日、24時間連絡を事業所にできるようにしている。 ・家庭での子育ての困り感などのアドバイスも面談、アプリ連絡で行っている。 ・活動の様子を毎回写真付きでお知らせしている。	・今後もICTの活用を推進し、子育て支援に努めていきたい。
2	障がいや本人の特性に応じた個別支援を行っている。	障がいや特性に応じて環境づくりを行い、個別にスケジュールを設定して、スタッフ間で統一した支援を行っている。 自宅でもスケジュールを活用できるように、使い方、作り方のアドバイスを行っている。	・職員の研修を充実させ、より専門性のある支援を行うように努める。
3	卒園、転園に伴う移行支援	卒園後、又は転園後の児童発達支援事業所、放課後等デイサービスへのスムーズな移行を進める為、家族と移行支援を行っている。	・家族、他事業所と連携しながら本人に合った移行支援を行っていく。今後は学校等と連携し情報共有を出来るよう努める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・市内の保護者、関係機関に周知が不十分。	情報発信や関係機関との連携が不十分なため。	事業所で取り組んでいる内容の情報発信に力を入れ保護者への周知を進める。管内の園や相談支援専門員、行政との連携に努める。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業 Preschool COCO.R

公表日 令和7年 3月 28日

利用児童数

21人

回収数

20人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20				少人数の未就学児には十分なスペースであるように感じます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			2		職員数は配置基準を満たしています。事業所玄関には保護者の方がご覧になれるようスタッフの顔写真を掲示しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20				・ブロックや遊具も増えたり、体全体で遊べたり、一人で居られる所などもあっていいと思います。 ・イラストのカードをフル活用し、視覚からの情報を得やすく、聴覚だけで情報収集が苦手な子どもでも活動内容などとても分かりやすいです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1			・子供はいつも楽しかったと話しているのでも心地よいのだと思う。 ・居心地よさそうです。 ・活動スペースは綺麗で居心地も良さそうなのですが、仕切りだけが気になっています。手作りなので変幻自在な感じも良いですが。	事業所内は発達障害の特性に合わせ、構造化された環境設定になっています。そのため仕切りやパーテーションが多く設置されていますが、今後、頂いたご意見を踏まえて環境整備に努めて参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				・施設利用してからできることが多くなったと感じている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1		支援プログラムは令和7年度4月公開に向けて、現在調整中です。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				・本人に成長がみられるのでしっかり作成されているのだと思う。 ・こどもに合わせた次の目標を作ってもらえていると思います。 ・なかなか登校出来ずに居た時、利用回数・時間の変更を申し出たとき心身共に救われました。子供自身も変わるきっかけとなっています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		子ども家庭庁の基準に基づき発達支援おいて、お子さんに必要な支援項目と具体的な支援内容を設定しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				個別支援計画を基に6カ月のサイクルで支援の実施と振り返りを行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1			・趣向を凝らしていると思う。 ・子供に合わせて興味関心のあることを把握し、活動の中に取り入れる事で子供が楽しみながら学んでいるように感じます。 ・本当にいろんな活動をしていて感心しています。とても工夫されていると思います。	日々のプログラムは子どもひとり一人の特性に配慮し、固定化しないよう利用日ごとに違った活動内容を提供しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	2	5	・各園からその日その日で違うお友達と会えるので本人は楽しそうです。 ・市町村が違うので何とも言えない。 ・一緒にいるという感じです。最近部屋の隅から中心にすることが増えたそうです。 ・公園へ行ったり、北三陸へ行ったり屋外へ出た活動も良かったと思います。	利用しているお子さんのほとんどが保育園や幼稚園との併用利用しているので、事業所で障がいのない子どもたちと交流する機会は設けておりません。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2		10	・家族も参加できる研修会などもあれば行ってみたいです。家族も学習できる場は欲しい。 ・先生がどのように接しているのかを実際に見ることは勉強になります。カードの使い方から誘い方が難しい所があります。	家族支援を目的としたプログラムや研修の実施を今後検討していきます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1			・親(母)からもう少し状況や相談をすればよかったかなと思います。	コードモンもしくは面談にてご相談の機会を設けておりますので、お気軽にお声がけください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20				・付き添いでの登園でしたので、どこまで母として対応をしてよいか、戸惑いがありました。もう少し相談すればよかったと思います。 ・アプリで分からないことやどうしたらいいかを聞いて頂いています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				・いつも気持ちに寄り添った声掛けをしていただいきありがたく思っています。 ・1日の様子を先生から伺って、対面で話してくれる時の安心感があります。(先生が明るくて)	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	11	・保護者同士の交流の機会はなかったように思います。ただ、なくてもいい気はします。 ・イベント等に参加したことがないので、分からない。	児童への個別の支援を主要としているので、父母会や保護者会の開催は行っておりません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	3		・相談を聞いてもらっています。 ・利用したことがないので分からない。	コードモンもしくは面談にてご相談の機会を設けておりますので、お気軽にお声がけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			1	・アプリで毎回、活動内容等連絡がくるので大丈夫です。写真付きで分かりやすくうれいします。 ・アプリを活用し、その日の様子がとても分かりやすく伝達されています。	保護者の方へはお子さんの日々の様子をコードモンにてお知らせしております。お子さんにも、分かりやすく情報が伝わるよう配慮しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	3		3	・コードモンで、その日の様子を毎回楽しみに見えています。(夫も)写真付きで嬉しいです。 ・ホームページ見てなかったです。 ・見たことがないので分からない。	保護者の方へのお知らせはコードモンにて、自己評価はホームページに掲載しますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		6	・周知・説明はしていただきましたが訓練については不明です。 ・避難訓練と違ってやってるんですか？	今後、マニュアルや訓練について保護者の方へ分かりやすく周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			16	・避難訓練は行ったりしているのですが活動時間が決まっているので少し難しい所もありそうですが、避難訓練をしたことがあるかは分かりません。 ・登回数が少ないため、訓練時に登設していないかもしれないです。	事業所では、年2回避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		3	・避難訓練と違ってやってるんですか？	今後、マニュアルや訓練について保護者の方へ分かりやすく周知していきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			2		怪我や事故等が発生した場合には、速やかに保護者の方へ連絡するよう努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	2			・いつも楽しそうです。 ・見た感じ安心感を持っています。 ・行き渋りがある時もありますが、先生たちを信頼している雰囲気があります。	当事業所の療育は、得意なことを伸ばしつつ、苦手なことも挑戦できるよう支援していくことを目的としています。そのため、お子さんの中には事業所へ行き渋りすることもあるかと思いますが、その際にはスタッフへお気軽にご連絡ください。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3			・COCO.Rから帰って来ると「もっともっとCOCO.R行きたい!」と満面の笑みでお話してくる時もあります。 ・その日の利用が終わると〇〇したよと教えてくれます。 ・気持ちのムラがあり「楽しみなな〜」と「行きたくない」を左右しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				・活動を見せてもらったが場所にも先生にも慣れそうです。 ・満足しています。 ・いつも臨機応変に、いつでも肯定的な態度で接していただき感謝しています。この人達ならこの子を任せて大丈夫という安心感があります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 3月 28日				
児童発達支援事業 Preschool COCO.R						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	毎年、保護者による事業所評価を実施している。	保護者以外の第三者による外部評価の実施も検討していく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			

適切な支援の提供

関係機関や保護者との連携

16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	保護者や関係機関より要望があった場合には支援会議を行っている。	事業所の存在を久慈市内で周知されていない。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	今年度より法人内の放課後等デイサービスを利用する児童に対し移行支援を行っている。	小学校への移行支援会議やスクラムには児童発達支援が含まれていないため、情報共有ができていない。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		久慈市内には児童発達支援センターが設置されていない為、連携を図ることができない。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	事業所を利用する児童のほとんどは、保育園や幼稚園と併用をしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	保護者との面談や見学等の機会は設けている。	家族支援を目的としたペアレント・トレーニングの具体的な実施について計画を立てていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		児童への個別の支援を主要としているため、父母会や保護者会の開催は行っておらず、今後もその予定はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	保護者とは、日頃コドモンにて連絡を取り、お知らせ等も配信している。	SNS等を活用した情報発信も今後検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	利用する児童の障害特性を考慮し、不特定多数と交流するような事業所の行事は予定されていない。	要望があれば、見学には随時対応していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	年2回の避難訓練を実施している。	災害時を想定した連絡体制など保護者や関係機関へ周知していく。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		